

会 議 録

会議の名称	第2回上尾市総合計画審議会	
開催日時	平成27年2月19日(木) 10:00~11:47	
開催場所	全員協議会室	
議長(委員長・会長)氏名	上尾市総合計画審議会 会長 平 修久 副会長 矢部 勝巳	
出席者(委員)氏名	小川 明仁、前島 るり、鈴木 茂、新井 金作、 濱野 秀彦、廣田 真理子、松本 悦子、河野 忠、 小川 均、前島 百合子、村田 喜代汰、遠山 正博	
欠席者(委員)氏名	神田 隆雄	
事務局(庶務担当)	副市長 遠藤 次朗(市長代理)、行政経営部長 町田 洋一、 行政経営部次長 駒崎 久志、 行政経営課長 柳下 貴之、行政経営課副主幹 角田 広高、 行政経営課主査 新木 恒太郎、行政経営課主査 新田 武志、 行政経営課主任 鈴木 知哉 (株)富士通総研 東 史人	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	上尾市総合計画審議会委員委嘱式 1 開 式 2 委 嘱 式 3 閉 式 第2回上尾市総合計画審議会 1 開 会 2 会長及び副会長の選出について 3 議 題 (1) 会議の公開について (2) 第5次上尾市総合計画後期基本計画(中間報告) について (3) その他 4 閉 会	報告と質疑応答
議事の経過	別紙のとおり	
会議資料	別紙のとおり	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 平成27年3月2日 <div style="text-align: right; margin-right: 100px;"> 議長(委員長・会長)の署名 <u>平 修久 (※原本は自署)</u> 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ) </div>		

議 事 の 経 過

司会(町田部長)

みなさん、おはようございます。
本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。
ただいまより、第2回上尾市総合計画審議会を開会させていただきます。

それでは、はじめに委嘱式を始めさせていただきます。

市議会選出の委員で田中守委員が今年の12月議会で市議会議長となったことにより退任されましたので、新たに議会から推薦された矢部議員に交付いたします。

なお委嘱状の交付につきましては、遠藤副市長より行います。お名前を読み上げますので、その場にてご起立いただきますようお願いいたします。

矢部勝巳(やべ かつみ)様

【委嘱状の交付】

ありがとうございました。

なお、矢部委員さんの委員の任期は、前任者である田中守委員さんの残任期間となり、平成28年11月9日まででございます。よろしく願いいたします。

ここで、副市長は公務の都合で退席いたします。

矢部委員さんから自己紹介をお願いします。

— 矢部委員自己紹介 —

引き続き、第2回の上尾市総合計画審議会を開会いたします。

先日皆様に配布させていただきました次第に沿いまして進めさせていただきます。まず、本日の会議は、条例第6条の規定に基づき、委員の過半数の出席がありましたので、有効となりますことを報告いたします。

会長及び副会長の選出

続きまして、次第の2番 会長及び副会長の選出について、でございます。

前回、第1回目の審議会で田中会長、平副会長と決めさせていただきましたが、田中会長の退任に伴い、再度、会長及び副会長を委員の互選により定めたいと思います。

審議会の条例第4条により「会長及び副会長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。」となっておりますが、いかがいたしましょうか。

— 事務局一任の声あり —

事務局一任との声がありましたが、いかがでしょうか。

— 異議なしとの声あり —

事務局(柳下課長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局より会長及び副会長案を提案させていただきます。 会長に平 修久(たいら のぶひさ)委員、副会長に矢部勝巳委員を提案させていただきます。</p>
司会(町田部長)	<p>事務局より、事務局案が提案されましたが、いかがでしょうか。</p> <p>— お願いしますとの声あり —</p> <p>それでは、会長は平委員 副会長は矢部委員といたします。 大変恐縮でございますが、会長と副会長につきましては、席を移動をお願いします。</p> <p>— 席移動 —</p> <p>会長、副会長の順で就任のあいさつをいただきたいと思います。会長、よろしく お願い申し上げます。</p> <p>— 会長あいさつ —</p> <p>ありがとうございました。副会長 よろしく願いいたします。</p> <p>— 副会長あいさつ —</p> <p>ありがとうございました。 それでは、条例第4条第2項によりまして、平会長に会の進行をお願いします。</p>
平会長	<p>議題</p> <p>それでは、次第に沿いまして、3番の議題に入ります。 はじめに、(1)会議の公開についてですが 事務局、本日の傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p>
事務局(柳下課長)	<p>傍聴者が1名いらっしゃいます。</p>
平会長	<p>ただ今から傍聴者に入場していただきます。事務局の方、傍聴者を入場させてく ださい。</p> <p>— 傍聴者入場 —</p> <p>議事に入ります前に、傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。 先ほど事務局よりお配りいたしました「傍聴要領」をよく読み、遵守(じゅんし ゆ)してください。また、「傍聴要領」に反する行為をした場合は、退場していただ きます。</p>

平会長	<p>続きまして、議題の(2)第5次上尾市総合計画後期基本計画(中間報告)について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局(柳下課長)	(配布資料の確認)
事務局(角田副主幹)	(2)第5次上尾市総合計画後期基本計画(中間報告)について
事務局(新田主査)	<p>資料1 重点プロジェクトの設定 資料2 プロジェクトチーム「重点プロジェクト」 資料3 “ほっと”なまち上尾市民会議「市民としてできること」に基づき説明</p>
平会長	事務局より、説明がありましたが、ご意見等はございますか。
鈴木委員	<p>資料2の流山市の生き残り策について、駅前保育ステーションをやっていることを聞いたことがあるが、具体的な取り組み例を教えてください。</p>
事務局(角田副主幹)	<p>都内の地下鉄の駅に流山市の魅力をPRするようなポスターを貼るとか、子育ての取り組みとして、若い方が住みやすい分譲地を整備するなどをやっているようです。</p>
事務局(柳下課長)	<p>また、大宮駅に流山市をPRするポスターを貼るなどして、担税力のある方々を呼び込むような取り組みをされたようです。</p>
鈴木委員	<p>資料を見た感想としては、総合計画とはこんなものかと感じている。良く言えば、良くできているし、悪く言えば、当たり前のことが書いてある。流山市が担税力のある方に特化しているように、これからの都市間競争において、上尾市はこれでやっていくというイメージがあるのか。大石地区の会長さんがよくあいさつで、三井住宅は先進的な地域だったが、今は上尾で高齢化率が高い地区だと言っている。そこに、何とかして若者に一緒に住んでもらうのか、または高齢者だけで無事に過ごしていくまちにするのか、そういうところを考えたほうがいい。2世帯3世帯で住んでもらえるようなアイデアがあってもいいのではないかと。県でも言っているように3人目の子供を産んでもらえるような財政支援を考えるなどを出していいのではないかと。</p>
平会長	今の意見に対して、事務局から何かありますか。
事務局(角田副主幹)	<p>今の段階では、どこにターゲットを設定して、そこにどんな上尾の魅力を持ってきて、どう発信していくかについては、まだありません。今後、これらを整理していく必要があり、今回の報告は方向性を示したものとご理解ください。</p>
遠山委員	<p>資料の「生き生きライフ」について、行政として積極的に何をすべきかを提案しておいたほうがいい。漠然としているので、行政としてやるべき施策を入れてほしい。子どもの数が減ることに伴い、小学校などの施設は統廃合によって減ることが予</p>

	<p>想されるが、高齢化に伴い、増やさなければいけない施設もあるのではないかと。具体的に書いたほうが、アピールできるのではないかと。</p>
事務局(角田副主幹)	<p>「生き生きライフ」の部分ですが、ご指摘のとおり、現在の施策と整合性を図りながら、具体的な取り組みを書く予定です。</p> <p>施設については、ご指摘の視点も踏まえながら検討していきたいと思います。今後取り組んでいく公共施設マネジメントは、施設を減らすことではなく、施設の有効活用を図ることが目的です。</p>
遠山委員	<p>少子化により、小中学校33校から1、2校減った場合、高齢化社会のために使用転化する施策も入れてもらいたい。</p>
廣田委員	<p>プロジェクトチームのアイデアであることは理解しますが、内容について、もう一步踏み込んでもらいたい。</p> <p>例えば、余剰施設と言われても、上尾市にどれくらいの施設があるのか見当がつかない。</p> <p>また、上尾の魅力を色々な方に聞くと、災害の無いまちが出てくるが、その次が出てこない。</p>
平会長	<p>先の報告は具体性がないとのことですが、プロジェクトの中では色々な意見があったのでしょうか。</p>
事務局(柳下課長)	<p>プロジェクトでは上尾の強みについての話もありました。災害の無いまち以外に、高崎線の東京駅乗り入れや上尾バイパスの開通予定から通勤通学に適しているのではないかと、住宅地と自然のバランスが取れているのではないかと、生活の利便性も良い、保育や教育施設が充実している、子どもの医療費についても早い段階から取り組んでいる、などが挙がりました。今後、具体的話に入っていくのではないかとと思います。</p>
平会長	<p>次回以降具体的な話が出てきますか。</p>
事務局(柳下課長)	<p>次回の審議会は来年度を予定していますが、具体的な話に入っていくのではないかとと思います。</p>
平会長	<p>本日は中間報告とのことですので、抽象的な話となります。他にご意見ありますが。</p>
濱野委員	<p>上尾市は中心市街地に住宅地が多い。例えば、そこに住む方たちが休みの日などに緑あふれる中で、サイクリングや釣りなどが楽しめる。そんな状況を作れば、住環境が良いと評価されるのではないかと。</p> <p>上尾、原市、平方は歴史ある地区だから、休みの日には郊外で遊べるような状況を作れば良いのではないかと。</p>
前島百合子委員	<p>上尾にも大学がある。その学生の若い力を活かしていければと思っていた。その中で、学生がシラコバト団地に入居したり、学校にも教えに行ったりしている。また、大学では公開講座もやっている。そういったところが魅力になるのではないかと。</p>

	<p>一方で、若い人を入れるということは、住宅を作ることになりますよね。すると逆に緑を減らすことになりますよね。若い人を上尾に呼び込むとともに、その住宅をどのようにしていくかを考えていく必要がありますよね。</p> <p>ところで、資料の差し替えがありました。内容も変わってくるのでしょうか。</p>
平会長	<p>今の最後の部分の質問について、事務局からありますか。</p>
事務局(柳下課長)	<p>差し替え前の「高齢者が・・・」の部分が、高齢者に限定したものと捉えられてしまう可能性があるのではないかと、子どもからお年寄りまでが安心して一緒に永住できる状態を意識した表現がいいのではないかとといった指摘が先日の策定委員会でありましたことから、変更したものでございます。</p> <p>中身については、これから検討していく部分になります。</p>
新井委員	<p>「限られた経営資源を強弱つけて投下していく」とあり、危機感のある内容になっているかと思ったのですが、資料ではメリハリが分からない。資料2の「郷土愛・・・」についても、上尾市からそんなに人が出て行っているのか疑問があり、また上尾に住んでいる人に郷土愛が無いとも思えない。</p> <p>上尾に来たい、住みたいと思わせるところに予算を投下していかないと、人口は増えないのではないかと。後期基本計画では、そこに重点を置いてもらいたい。</p> <p>意見ですので、回答はいいりません。</p>
平会長	<p>他にありますか。</p>
前島るり委員	<p>住みやすいまち、永住したいまちというところを魅力にして、後期基本計画の目玉にしていければと思いました。</p> <p>前期基本計画と資料2の「3. 住みやすいまちづくり」の中で、大規模団地の高齢者対策があったが、団地の活用・対策をまちづくりの核の一つに取り入れてもいいのではないかと感じた。</p> <p>市民会議の検討の中でも、項目に子ども・若者支援や域学連携があっても良かったのではないかと。</p>
平会長	<p>今の意見は検討テーマになり得ますか。</p>
事務局(角田副主幹)	<p>全てなり得ます。</p>
廣田委員	<p>ところで、多文化の方は上尾にどれくらい住んでいますか。</p>
遠山委員	<p>2, 400人くらいいます。</p>
町田部長	<p>その内、中国、韓国、ブラジル籍の方が多いです。</p>
廣田委員	<p>どこかに含まれますか。</p>
事務局(角田副主幹)	<p>重点テーマの資料にはありませんが、基本構想で定める基本方向7にある「交流」に含まれます。</p>

廣田委員	多文化の方は、話しづらいという意見もある。「協働」の中にそういった方も入るといいですね。
小川委員	<p>商工会議所の立場からすると、工業・商業を含めて、生産年齢は下がる見込みであり、熟年労働者が減ってくる。このシフトが難しい。</p> <p>円高で海外に置いていたものを円安だからといっても日本に戻すに回せない状況がある。</p> <p>市民税のウェイトが高いのであれば、早いのは企業誘致です。しかし、働く環境の整備や土地が無いとそれもできない。</p> <p>過去10～20年で比較すると生産額や出荷額はかなり下がっています。企業の先端技術を上尾市としてどのように活性化していくかも課題です。情報発信基地をどこかに作る必要がある。</p>
平会長	他にありますか。
松本委員	<p>産業の発展について真剣に考えていかないと、発展の可能性を潰してしまう。また、産業の発展を考えるのであれば、土地作りから始めなければいけない可能性もある。</p> <p>そこで働く人たちのことも考えながら、計画立てていけばいいのではないかと思います。また、私が関わっているハンデを持った人たちにできることもある。そのことも考えてもらえればありがたい。</p>
濱野委員	色々な部分で市民と協働していく部分がある。「市民と協働のまちづくり条例」といったような、協働の裏付けとなるものも考えていったほうがいいのではないかと思います。
前島るり委員	国の地方創生における総合戦略と総合計画の関係性は、
事務局(柳下課長)	<p>総合計画は過去から今の第5次まで続いてきたもので、現在も後期基本計画を策定しているところです。国から出ている総合戦略は「まち・ひと・しごと」に限定したものであり、交付金も降りてきます。総合計画と同時進行で進めるものです。</p> <p>国からの情報が日々変わっているところもあり、はっきりとしたことは言えませんが、全国の自治体で総合戦略を作るという動きになっています。</p>
平会長	<p>資料1の最終ページについて、「歳出増」を「行政ニーズ増」に置き換えを検討してください。</p> <p>単なる「歳出増」という表現では、「協働」や「行政経営」に取り組む理由として弱い。「行政ニーズの増」という表現であれば理由もはっきりする。</p> <p>今日、出された意見を踏まえて、次回以降、具体的な話に入りたいと思います。</p> <p>続きまして、議題の(3)その他について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局(柳下課長)	第3回の審議会の開催について、でございますが、資料4の上尾市総合計画後期基本計画策定スケジュール(予定)にございますように、本年5月中旬を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

平会長	何かご質問はございますか。
小川委員	次回の日時は決まっていますか。5月は総会等の予定が多いので、午前中を希望します。
事務局(柳下課長)	午前中で調整します。
平会長	スケジュールを見ますと、8月までに皆さんの意見をまとめることとなります。今後皆様のご協力をお願いいたします。 それでは、これもちまして第2回上尾市総合計画審議会を終了いたします。進行を事務局にお返しいたします。
町田部長	ありがとうございました。 それでは、最後に矢部副会長から閉会のあいさつをお願いいたします。
矢部副会長	— 閉会のあいさつ —